

【さいたま市立内谷中学校】令和8年度学校経営方針

学校教育目標

進んで学ぶ 心豊か たくましく

学校運営協議会の目標

これからの社会を主体的に生きる生徒の育成

目指す
学校像

未来を創る力をはぐくみ、
一人ひとりのWell-beingを
共創する学校

目指す
生徒像

しなやかに、たくましく
他者と協働して
幸せを創造する生徒

□レジリエンスが息づく場

失敗を「学びのプロセス」ととらえ、何度でもやり直せる寛容さと、互いに支え合うつながりがある学校

□エージェンシーをはぐくむ場

学校運営や行事、学習の進め方に主体的に関わり、自らの声で学校をより良く変えていける実感を伴う学校

□Well-beingを実感する場

自己肯定感と学校運営や社会参画を通じて得られる充足感が循環する学校

□困難を糧にする力

失敗や挫折に直面しても、気持ちを整え、自分なりのペースで新たな一歩を踏み出すことができる。

□意思を持って行動する力

自分自身の学習目標を立て、学び方を自ら選択・調整することができる。また、社会や身近な課題を「自分事」として捉え、より良い方向へ導くために自ら考え、行動できる。

□共に幸せを創る力

自分の良さを知り、心身の健康を大切にしながら、自己実現に向けて努力できる。多様な価値観を尊重し、対話を通じて共に心地よい居場所を創り出すことができる。

学校経営方針

【知のWell-being】 学びの質の向上

- デジタルの力で生徒のリアルの学びを支える意識とバランス感覚を持った授業を実践する。
- 文科省「教育課程柔軟化サキドリ研究指定校」により本校の強みを最大化する教育課程を創造する。
- 小・中一貫教育の推進を基盤としたカリキュラム・マネジメントの充実により真の学力の育成を図る。

【心のWell-being】 子どもの発達や心のサポート

- 一人ひとりに寄り添った発達支持的な生徒指導や教育相談の一層の充実を図る。
- いじめ撲滅及び生徒主体によるいじめの未然防止の取組を強化する。
- 互いの良さを認め合い、尊重し合える心理的安全性の高い集団づくりを行う。

【学校・家庭・地域のWell-being】 地域とともにある学校づくり

- 学校運営協議会と生徒会活動の連携・協働の充実を図る。
- 地域人材を活用したキャリア教育をはじめとした地域の教育力の活用と、積極的な情報共有により信頼関係を構築し、学校・家庭・地域との連携・協働の更なる充実を図る。

【教育環境のWell-being】 安全・安心な教育環境の整備

- 危険を予見した確実な安全点検の実施により、生徒が心身ともに健康に過ごせる教育環境を整備する。
- 合理的配慮に基づいた掲示物の整理や、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた空間を整備する。
- 熱中症や感染症対策及び生徒の事故やケガの防止に向けた指導と管理を実践する。

【教職員のキャリア形成とWell-being】 教え方改革・働き方改革の更なる推進

- 業務の質的・量的な効率化により、生徒と向き合う時間の創出とワークライフバランスの充実を図る。
- キャリア段階に応じた研修の受講奨励により、教員としての資質向上を支援する。
- 教職員が働きがいと使命感を持って教育活動に邁進する、心理的安全性の高い職場環境を作る。